

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 5 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 12 月 7 日(水) 14:00～17:00
2. 場 所：京都大学吉田キャンパス 工学部 3 号館 W404
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大山幹事，斉藤幹事，武知幹事，
広瀬幹事，古市幹事，溝江幹事
中島 H206 委員会委員長
(欠席者：大垣幹事，奥井幹事，葛西幹事，下村幹事，松本幹事，渡辺幹事，
竹原事務局員)
4. 配布資料
資料 幹 5-0 第 5 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 5-1 第 4 回複合構造委員会幹事会議事録 (案)
資料 幹 5-2-1-1 シンポ小委員会打合せ議事録
資料 幹 5-2-1-2 優秀講演賞評価結果
資料 幹 5-2-1-3 行事報告書
資料 幹 5-2-1-4 第 9 回複合シンポ総括
資料 幹 5-2-1-5 第 9 回複合シンポ報告
資料 幹 5-2-2-1 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポ開催計画
資料 幹 5-2-2-2 第 4 回複合シンポ準備工程表
資料 幹 5-2-3 論文集特別号発刊検討
資料 幹 5-2-4-1 複合構造委員会組織図 H23-24
資料 幹 5-2-4-2 運営細則
資料 幹 5-3 複合構造の基礎に関する書籍の修正状況と委員会への回答案
資料 幹 5-4-1 H24 全国大会共通セッション申込み (複合構造)
資料 幹 5-4-2 H24 全国大会共通セッション申込み (FRP)
資料 幹 5-5 なし
資料 幹 5-6 なし
資料 幹 5-7 出版関係
資料 幹 5-8-0 小委員会一覧
資料 幹 5-8-1 H101 示方書委員会 (メール)
資料 幹 5-8-2 H104 震災調査小委員会 (メール)
資料 幹 5-8-3 H206 ずれ止め小委員会 (メール)
資料 幹 5-8-4 なし
資料 幹 5-8-5 H208FRP 複合構造研究小委員会
資料 幹 5-8-6 H209FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会 (メール)
資料 幹 5-8-7 H210 複合構造物の防水・排水技術研究小委員会
資料 幹 5-8-8 なし
資料 幹 5-9-1 「委員会規則」について
資料 幹 5-9-2 複合構造委員会規定関係整理
資料 幹 5-10 第 2 回委員会議事次第案
資料 幹 5-11 JCI からの依頼事項について

資料 幹 5-12 「行政官庁等に対する建議等」について

資料 幹 5-13 なし

資料 幹 5-14 ずれ止め継続申請

5. 議事内容

(0) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、杉浦委員長より挨拶があった。

(1) 平成 23・24 年度 第 4 回複合構造委員会幹事会議事録の確認 (資料 幹 5-1)

大山幹事より、前回幹事会の議事録(案)が読み上げられ、一部修正の上、承認された。

(2) 第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウムおよび第 4 回 FRP シンポジウムについて (資料 幹 5-2-1-1～5-2-4-2)

第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

溝江幹事より、「第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」について、開催報告がなされた。また、開催報告は、複合構造委員会のホームページに掲載することとした。

優秀講演賞の評価結果より、5 名の候補者が提案され、了承された。なお、優秀講演賞受賞者は、複合構造委員会のホームページで、シンポジウムの開催報告とともに発表され、賞状が授与される。

シンポジウムの総括として、以下の 4 点についての課題が挙げられた。

- ・ 次回シンポジウムでは、参加費に関して、登載料と聴講料を区分することを検討することとなった。これは、一人で複数の原稿を投稿した場合への対処である。建築側の意向もうかがう必要があるが、登載料と聴講料を分ける方向で検討を進めることとした。
- ・ 発表者は非会員でもよいことを確認した。
- ・ 次回シンポジウムでは、pdf 作成要領にフォントの埋め込みに関する注意事項を追記することとなった。
- ・ 次回シンポジウムでは、講演原稿募集時に会員・非会員の区別と年齢を確認することとなった。

第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム

溝江幹事より、「第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウム」の開催計画について説明があった。

シンポジウム開催日は、2012 年 11 月 1 日 (木) ~2 日 (金) に決定した。

従来は 1 日開催であったが、スケジュールがぎりぎりであること、1 日目の開催をやや遅くし、2 日目の終了をやや早めにするすることで、地方から参加しやすくなることを考慮し、2 日間で開催することとした。

講演概要集は、従来通り印刷物とするが、原稿の募集は、学会ホームページでの講演概要集の公開に対応できるように、pdf にて行うこととした。

過去の講演概要集については、どのような順序でデジタル化し公開されているのか、図書委員会にきくとともに、できるだけ早く公開してもらえるように依頼することとした。また、それに伴い、第 1 回・第 2 回については、構造工学委員会に公開の了承をとっておくこととした。

FRP シンポでの優秀講演賞については、複合シンポと同程度の受賞率 (1/5 程度) とすると、第 3 回では講演 30 件うち対象者は 10 件程度となることから、2 名程度が受賞することになる。優秀講演賞は、この方針で進めてよいこととした。また、表彰規定を複合シンポと FRP シンポで共通化するため、規定のタイトルを修正しておくこととした (規定内の小委員会名も同時に修正しておく)。

表彰については、年齢制限のない表彰についても検討してほしいとの依頼があった。

FRP シンポでの特別企画は、H208 委員会の報告会を行うことを検討している。

FRP 材料の情報発信を目的とした展示を企画している。まずは、H208 委員会にて、展示料徴収の

可能性も含めて様子をきいてみることにした。

論文集特別号について

隔年開催である複合シンポ、および FRP シンポにおける優秀な講演原稿を推薦して、論文執筆をお願いすることが基本方針である。FRP シンポの原稿はあくまで講演概要であり、論文にはレベルが達しにくいことから、複合シンポからの推薦が基本となるであろう。毎年発刊することが原則であるため、原稿を1編でも掲載するための方策が必要となる。

- ・ 論文にこだわらず、委員会報告や報告・ノートなどの掲載も考えれば、毎年の発刊は可能であろう。
- ・ 特別号として、査読（発刊）の主旨を明らかにした方がよい。
- ・ 年間を通しての論文募集は行わない方向で検討する。
- ・ 次回複合構造委員会にて、検討状況を報告し、意見をうかがうこととした。
- ・ 特別号に関する検討は、シンポ小委員会の WG として続けることとし、実際の運用が開始されるときに編集委員会を新設することとする。

シンポジウム小委員会について

新たに池田幹事、葛西幹事、松本幹事に入ってもらったこととした。委員の追加については、次回複合構造委員会で承認を受けることとした。なお、全委員の委嘱期間が切れているため、複合構造委員会後に新たに委嘱状を送付することとした。

シンポジウム小委員会は、「複合構造シンポジウム小委員会」から「シンポジウム小委員会」に改名することを次回複合構造委員会で承認を受け、複合構造委員会運営細則を修正することとした。

(3) 複合構造の基礎に関する書籍について (資料 幹 5-3)

大山幹事より、複合構造委員会への報告用資料を作成したことについて説明があった。西崎幹事長より、複合構造委員会委員にメールで配信することとした。

原稿は、最終校正作業中である。

書籍のタイトルは、「基礎からわかる複合構造 ー理論と設計ー」とすることとした。

(4) 平成 24 年度全国大会について (資料 幹 5-4)

西崎幹事長より、平成 24 年度全国大会における共通セッションの申込みについて説明があった。従来通り、「複合構造物」の共通セッションを申し込むとともに、小委員会の活動をベースとした「FRP によるコンクリートおよび鋼構造物の補強」と題する共通セッションを申し込むこととした。なお、H209 委員会の成果報告に関係する研究討論会については、次回幹事会にて議論することとした。

(5) 賞の推薦について

西崎幹事長より、土木学会賞への推薦についてメーリングリストで案内を行ったが、応募や推薦がなかったことから、本委員会からは推薦しないこととした。

(6) 300 年プロジェクトについて

古市幹事より、企画 WG にて意見交換を行ったことが報告された。実施するにあたり、計測項目をどうするか、試験体は材料か部材か、どうやって引き継いでいくか等について検討を開始した。

(7) 出版関連 (資料 幹 5-7-1~5-7-2)

武知幹事より、販売状況の報告があった。また、今後出版予定のものについては、スケジュール通り出版してほしいとの注意があった。

複合構造の基礎に関する書籍については、書籍タイトルが決まったので、構造工学委員会に出版のお知らせ（資料 幹 5-7-2）を提出することとした。

複合構造の基礎に関する書籍は、販売計画を確定させることにより、半年以内の経費回収にとられないで済むこととなる。

(8) 新規小委員会について（資料 幹 5-8-0）

西崎幹事長より、小委員会の活動状況について説明があり、新規に2種の小委員会の設立を検討してほしいとの依頼があった。

(9) 小委員会報告審議事項（資料 幹 5-8-0~5-8-7）

複合構造標準示方書小委員会 (H101)（資料 幹 5-8-1）

西崎幹事長より、渡辺幹事のメールに基づき、活動状況が報告された。1月の複合構造委員会では、資料を提出するよう依頼があった。

震災調査小委員会 (H104)（資料 幹 5-8-2）

西崎幹事長より、渡辺幹事のメールに基づき、活動状況が報告された。1月の複合構造委員会では、資料を提出するよう依頼があった。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (H206)（資料 幹 5-8-3）

西崎幹事長より、渡辺幹事のメールに基づき、活動状況が報告された。新たに2名の委員が追加された。幹事会の最後に、中島委員長より延長申請の説明が行われる。なお、延長申請については、複合構造委員会運営細則により複合構造委員会での審議・承認は必要ないことが確認された。1月の複合構造委員会では、資料を提出するよう依頼があった。

FRP 複合構造研究小委員会 (H208)（資料 幹 5-8-5）

西崎幹事長より、FRP シンポで成果報告を行う予定であることが報告された。また、活動の延長を検討している旨、説明された。

FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会 (H209)（資料 幹 5-8-6）

西崎幹事長より、渡辺幹事のメールに基づき、活動状況が報告された。平成24年度の全国大会で、共通セッションを申し込むこととなった。また、研究討論会を企画し、これを成果報告にあてることを検討しているとのこと。さらに、活動の延長を計画していることが説明された。

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会 (H210)（資料 幹 5-8-7）

溝江幹事より、活動状況の報告があった。新たに2名の委員の追加があった。

(10) 内規・規則改正について（資料 幹 5-9-1~5-9-2）

西崎幹事長より、理事会で委員会規則が承認されたとの報告があった。委員会ホームページの「内規」を「規則」に修正する。

(11) 第2回複合構造委員会について（資料 幹 5-10）

西崎幹事長より、第2回複合構造委員会の議事次第案について説明があり、内容を確認した。

(12) その他

西崎幹事長より、JCIからの依頼（資料 幹 5-11）について説明があった。

西崎幹事長より、「行政官庁等に対する建議等」の手續きについて（資料 幹 5-12）説明があった。

小委員会の継続について

小委員会を継続するにあたり、幹事会で説明を行う際に、何らかの実績が必要であることが確認された。たとえば、研究討論会を企画するだけではだめで、委員会の成果がわかるような内容や資料（研究討論会の配布資料など）が必要である。共通セッションについても同様で、委員会との関係がわかるような資料（講演概要の謝辞に委員会名を記載するなど）が必要である。

第2回複合構造委員会および第6回幹事会

第2回複合構造委員会：平成24年1月25日（水）14:00～17:00

第6回幹事会：平成24年3月10日（土）香川県にて開催予定

(13) H206 小委員会の期間延長について（資料 幹 5-14）

中島 H206 小委員会委員長より、小委員会のこれまでの活動報告と期間延長について説明があり、小委員会の期間延長が了承された。

以 上
(記録・文責 齊藤)